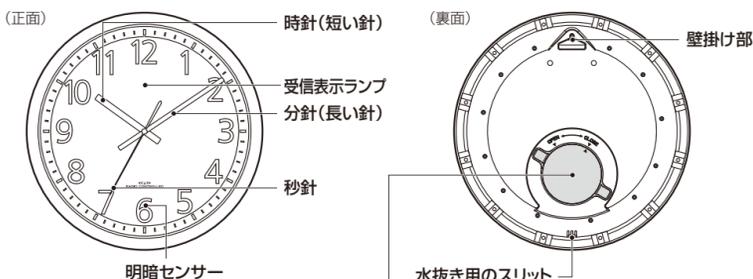


各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

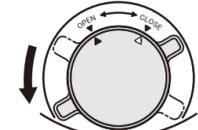


注意 ふたの着脱について

- 浴室や温室など温度が高い所では、ふたの着脱を行わないでください。内部に湿気が入り、温度変化によりガラスの内側などに結露することがあります。
- ふたを取り外すときは、事前に時計や手の水分をよく拭き取ってください。
- 電池のセットやボタン操作が終わったら、ふたをきっちり締めてください。

ふたの取り外し

ふたの▲印を「CLOSE」から左に回転させ、「OPEN」の位置にして取り外します。



ふたの取り付け

ふたの▲印が「OPEN」位置になるようにふたをはめ込み、▲印を「CLOSE」の位置まで右に回転させてください。

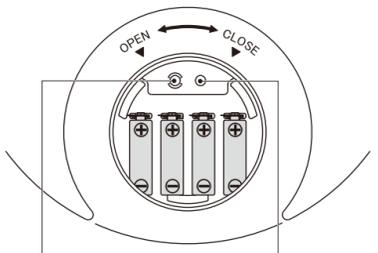


電池の入れかた

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池(推奨)を4個入れてください。

▲注意 電池の⊕⊖を逆向きに入れると電池からの液漏れや発熱、破裂の原因になります。

(ふたを取り外した状態)



強制受信ボタン

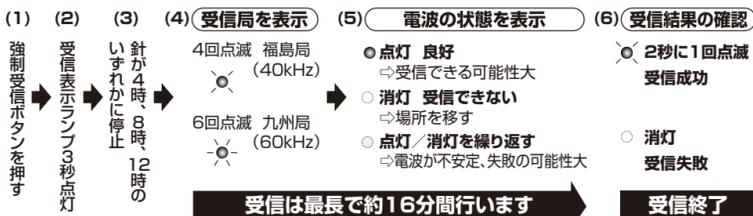
電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに使用します。

時刻合わせボタン

手動で時刻を合わせるときに使用します。不用意に押すと時刻が変わります。

- パッキンに砂やほこりなどの異物が付着すると防水性能が低下しますので、取り除いてください。
- ふたが固く締めづらいときには、ふたを外して、パッキンの表面に良質のハンドクリームを薄く塗ってください。

標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……受信しやすい所を探すには

- 窓際やベランダで (5) まで行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- 時計を設置したい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

電波を受信できないときは、手動で時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

- ※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
- ※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。
 - 時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。
- 秒針の動きについて
- 時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。
 - 秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

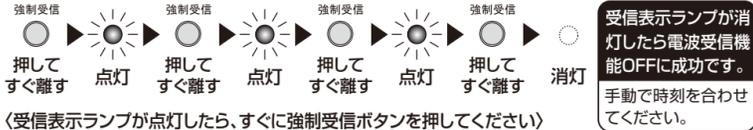
電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。



- ※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。
- ※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

電波受信機能をONにするには(開始するには)

電波受信機能をONに設定して工場を出荷しています。時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押してください。

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。

ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

1 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

2 強制受信ボタンを押す (標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた) 参照

- 受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。針は、4時、8時、12時のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。
- ※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
- ※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
- ※受信中はボタン操作をしないでください。

3 (時計の掛けかた)に従い、時計を確実に掛ける

4 16分待って受信結果を確認する

- 受信が終わると針が動き出します。受信表示ランプが2秒に1回点滅していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。
- 消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探すか、(標準電波を受信できない場合)を参照してください。

- ※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
- ※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- ※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 壁掛け部以外には掛けないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

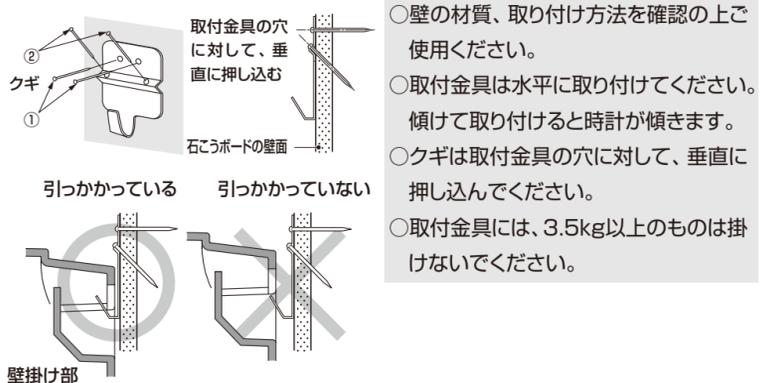
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のクギ4本でしっかり固定してください。

金具を水平にして①②の順序でクギを押し込んでください。



- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

- 上記以外の壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針が12時位置に停止し、受信表示ランプが消灯します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。十分に明るい所で秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要です。

電池の交換時期お知らせ機能

重要

電池の交換が必要になると、明るい所でも秒針が12時位置で停止し、電波の受信を行いません。時計と分針はこのような状態になってから約1ヵ月間[※]時刻を表示し続けますが、お早めに電池を交換してください。

[※]ご使用状態により、この期間は前後します。

- ※電池を長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。
- 電池は時計が動いていても、5年に1回定期的に交換してください。

使用する電池の条件

- 電池を長期間使用しますので次のことをご守りください。
 - 条件を満たさない電池を使用すると、電池からの液漏れにより時計の故障や損傷を与えることがあります。また、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
 - ①電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上
例. 2017年3月に交換 03-2021より先の「使用推奨期限」表示のある電池
 - ② 同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの
 - ③ 未使用の電池
 - ④ 単3形アルカリ乾電池
- 使用推奨期限の表示例 月一年

おもな製品仕様

- 使用温度範囲 -10~50℃ *結露しないこと
- 時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度
秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度
標準電波を受信しない場合
平均月差±20秒(温度が5~35℃のときのクォーツ精度)
- 推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 4個
- 電池寿命 約5年 標準電波の受信に成功して、秒針が1日当たり7時間暗所で停止した場合
- 暗所秒針停止 明暗センサーに連動して12時位置に停止
- 電池交換時期お知らせ機能 秒針が常時12時位置に停止
- 電波時計機能 電波の受信に成功すると時刻を修正 手動時刻合わせ ボタン操作
- 受信局 福島局/九州局 自動選択 防水機能 当社規格の強化防滴防塵構造
- サーチ機能 受信局、電波強弱受信を表示
- 受信回数 1日に最少1回、最多6回
- 受信ON/OFF ボタン操作でON/OFF切り替え

自動受信開始時刻
受信状態により、受信回数は変化します。
2時16分20秒、3時16分20秒、4時16分20秒、12時16分20秒、13時16分20秒、14時16分20秒
*2時16分20秒は必ず受信を行います。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、クギ 4本、取扱説明書・保証書 本書